

*** あすばる男女共同参画フォーラム 2015 公募企画 ***

学んでみませんか？＜健康寿命と性差医療＞

日本人の健康寿命は男女とも世界一でした！（2013年、ワシントン大学）
（健康寿命：介護の必要や生活に支障が出る病気にかかった期間を除く）

女性 75.56 歳、男性 71.11 歳

でも、平均寿命との差（不健康寿命）は？

女性：10.65 歳、男性 9.09 歳で女性の方が 1.5 年長い。

健康を保ちながら高齢期を生きることは個人の大きな幸せです。同時に、社会的な活力の保持や、介護・医療などの社会的負担を減らすことにも直結します。北京行動綱領の 12 の重大問題領域では「女性と健康」がとりあげられてきています。1990 年代以降、生物学的性差とライフスタイルや病気におけるジェンダー差に着目した性差医療（sex/gender-specific medicine）の考え方が進展しています。いまこそこれを学びながら、男女が共に生涯にわたる健康寿命を伸ばすことを考えてみましょう！！

講演会

テーマ：男女の健康寿命の延伸を性差医療から考える

講師：松田昌子医師

山口大学名誉教授、同大附属病院「女性医療外来」担当医師
日本性差医療学会理事

地域データの紹介：平田伸子

帝京大学教授、NPO 法人家庭子どもセンター 副理事長

日時：2015 年 11 月 29 日（日） 午前 10 時～12 時

場所：福岡県男女共同参画センター・あすばる 508 研修室 A B

資料代：100 円

主催：NPO 法人家庭子どもセンター(連絡先 080-1708-3113)

後援：北京 J A C 九州 in 朝倉

